



太女進路通信

令和3年度 第1号
令和3年7月20日発行
群馬県立太田女子高等学校
進路指導部

【がんばれ 3年生！】【共通テストまであと180日！悔いのない夏を！】

「夏を制するものは受験を制す！」などよく言われますが、高校生活最後の夏休みをみなさんはどう過ごしますか？ 重要なのは「この夏どういう力を身につけるか！」ということです。このことは現在の自分自身の各教科における理解度や到達度、すなわち「自己理解（現状把握）」と「志望校までの距離」の確認がセットになります。すでに身につけている学習内容に時間をかけることは得策ではありません。また、むやみやたらに高いお金を払って夏季講習に参加したり、著名な参考書や問題集に新たに手を出したりするのも考えものです。個人個人実力差があるわけですから、「どういう力をつけるか！」も当然違いますし、おのずと取り組むべき学習内容も異なるということになります。もちろんがむしゃらに学習に取り組む事も必要ですが、同時に**戦略を練って効率的に取り組む**ことも必要です。夏休みは意外に短いぞ！

みなさんは今まで実力テストや定期考査、さらに模擬試験も受けてきました。自身の得意不得意はわかっていると思うのですが、「なんとなく・・・」の人が多いい気がします。模試の成績表はどの部分をよく見ますか？ 志望校の判定？ 順位？ 偏差値？ それらは目安にはなりますが、絶対的な数値ではありませんから、その部分だけを見て一喜一憂する必要はありません。重要なのは**科目ごとの「設問別成績」のグラフ**の部分です。教科全体で考えるのではなく、どの分野・項目が弱いのかをあぶり出し、そこを徹底的に潰しておくようにしましょう。身につけたい力の優先順位が決まり、学習項目も焦点化されますから、学習に取り組みやすくなると同時に、学習したことに対する結果も見えやすくなります。模試の成績表を見て次に生かされない「情緒的な反省」（英語がダメだった・・・次はがんばろう→何を頑張るの？）をするのはもうやめましょう。

それから、当たり前ですが、大事なことで言うておきます。生活のペースやリズムを崩さないことが大前提としてあります。また、関連しますがスマホも封印しておきましょう！ 自分自身に負けず、受験後に後悔しないようにこの夏を乗り切ってください。2学期始まって早々に『共通テスト』の願書を配布しますね！



総合型選抜・学校推薦型選抜を考えている生徒へ 《第1志望が原則！》※併願を除く

「**総合型選抜**」とは2年前までAO入試として行われていた入試方式です。この入試は大学のアドミッションポリシーに学生のやりたいことがマッチしていることが条件です。面接やレポートやプレゼン等、じっくり時間をかけて選考していくという特徴があります。9月以降出願が始まりますので、考えている人は三者面談で担任の先生に必ずその旨を伝えるようにしてください。

「**学校推薦型選抜**」のうち「**指定校推薦入試**」はこれまでの出願状況や本校出身の在学生の成績状況などを検討して、当該の大学との信頼関係にもとづいて行われるものです。9月初旬に指定校として依頼のあったものうち主な大学を公表し、生徒募集をかけ、大学の推薦基準に合致している場合、推薦に値する人物かどうかの校内選考会議を行います。第1志望であることやアドミッションポリシーの十分な理解、入学後の積極的な取り組みなど、総合的に判断をして学校で推薦するかたちになります。昨年度の依頼校については「**進路の手引**」に記載していますので、参照してください。「**学校推薦型選抜**」のうち「**一般公募推薦**」は国公立・私立問わず、大学が受験生すべてに募集をかけている入試方式です。ただ、この入試は学校長が推薦するかたちをとりまますので、指定校同様、校内選考会議を経てからの出願となります。各個人が大学の募集要項で出願要件・基準等を確認し、学校に必要書類を提出します。これもあらかじめ担任の先生によく相談しておくようお願いいたします。

【がんばって 2年生！】【1年～2年1学期までの学習内容の総復習を！】

高校生活の振り返り地点が見えてきました。あと半年ほどで3年生です！ 焦らせるつもりはないのですが、受験を終えた多くの生徒が「もっと時間があれば」とか、「もっとこうしておけば」などと決まって言うんですね。高2の夏休みと高3の夏休みでは精神的重圧が全く違います。平等に同じ時間なのになぜでしょうか？ でも、そうしてわかっているのであれば、この夏からギアを入れ替えて、本格的に受験勉強を始めてしましましょう。2年の夏にしっかりと取り組むことができ、それが成果として現れることで、間違いなく3年の夏を迎えるときの自信につながります。データからも**全国の成績上位者7割が受験勉強のスタートを2年の夏休み**としています。**共通テストの出題範囲も1・2年の内容が7～8割**となっています。ここでサボってしまうと後々まで苦労することは目に見えています。まとまった時間がとれるこの時期に1年から今までの学習内容をしっかり理解しておくとともに、特に英数国の基礎をしっかりと固めておきましょう。

「**受験勉強**」という何か特別なことをしなければと思う人もいるでしょうが、そんなに難しく考える必要はありません。学校から出される課題・課外授業を「入試に出題されるかも知れない問題」だと思って取り組んでみてください。実際、課外で扱った問題が模試や入試で出題されることはあります（当然、各教科の先生が重要性の高い教材を選んでいるからです・・・）。わからなければ、先生に聞くなどして疑問点は早いうちに解消しておきましょう。そして2学期以降もその姿勢を継続できれば、第1志望合格間違いなしです。また、オープンキャンパスに参加したり、Webで大学の募集要項を確認したり、赤本で過去問を見たりすることも受験への意識を高めてくれますので、是非積極的に行動してみてください。行事や部活動などで学校の軸となる2年生ですので、いろいろと忙しいかも知れませんが、「やればできる！」精神のもと、強い意志を持ってがんばりましょう！ そしてこれは全学年共通ですが、休みに入っても規則正しい生活を送るよう心掛けてください。（最後は体力勝負!?)



【がんばろう 1年生！】【不得意科目を作らない！徹底した基礎固めを！】

入学してから4か月がたちました。学校生活についてはある程度自分のペースがつかめてきたのではないのでしょうか？ せっかく軌道に乗った生活のペースをこの夏休みで崩してしまつてはもったいない。「起床」「学習」「就寝」時間を固定して、規則正しい毎日を送りましょう。「セルフコントロール」や「タイムマネジメント」は合格を勝ち取る上での必須アイテムとなります。

さて、学習に関してですが、高校生活はまだ始まったばかり、受験なんてまだ先の話、夏休みを謳歌するぞ！ などと言っていると取り返しがつかなくなります。みなさんもよく言われているはず、「**基礎が何よりも大事だ！**」と。高校1年生の学習はまさにその「**基礎**」を学んでいるのです。1学期の学習事項で積み残した所はありませんか？ また、わかつたつもりになっている所はないですか？ まとまった時間がとれるこの夏休みにしっかりと計画を立てて不得意分野の解消を図っておきましょう。まだ4か月しかたっていないので、諦めなければいくらでもリカバリーはできます。そのために**学校の課題や課外授業を最優先に考えて、ただ提出・参加するのではなく、目的意識を持って積極的に**取り組んでください。同じことをやっているのに学力差が出てくるのはこの意識の違いが要因なのです。その中でも英数国はとても大事、ガッチリ固めておきましょう。ただ、無理な計画は破綻しやすいですから、要注意！

さらに時間があるこの時期に大学について色々調べてみることをお勧めします。昨年はほとんどリモートでしたが、対面型オープンキャンパスは再開されつつあります（予約制が多い）。Webでもいいのですが、やはり実際にキャンパスに足を踏み入れることで大学を肌で感じられ、学習へのモチベーションを高めてくれること請け合いです。また、学部学科を深く調べていくことで、文理選択を決定する際の参考にもなりますから、じっくりしていないでどんどん動き出しましょう！

